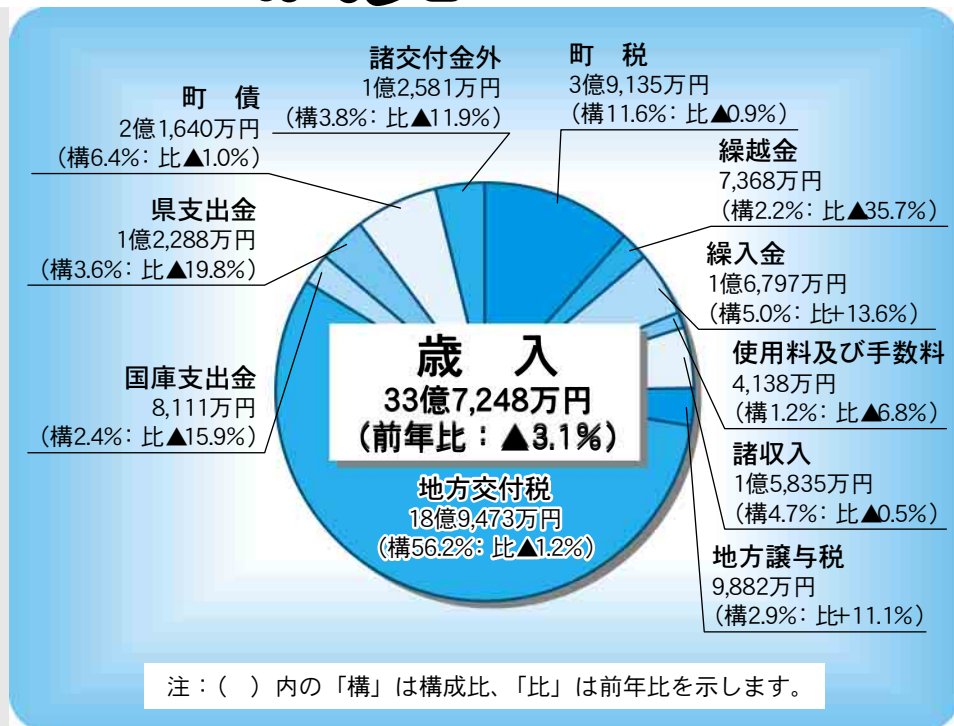


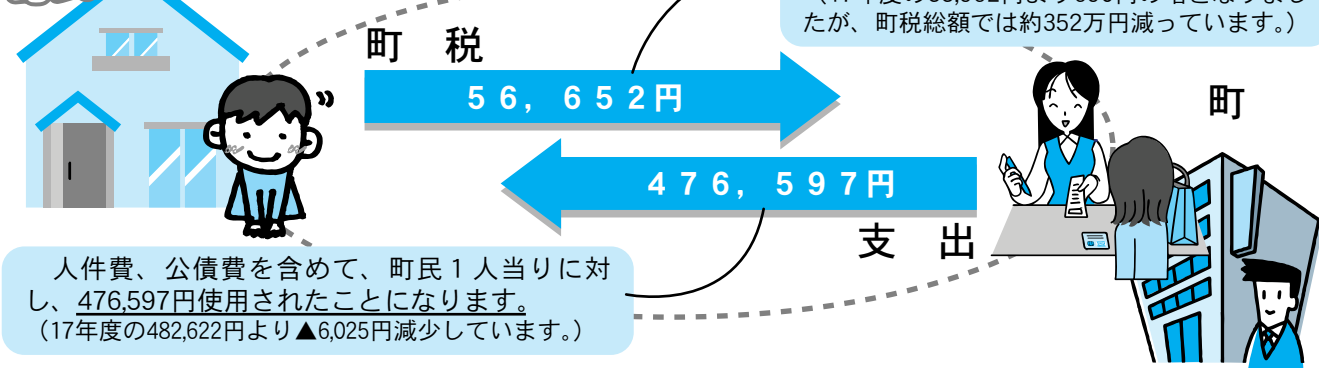
平成18年度決算をチェック!

歳入全体では17年度より1億658万円(3.1%)減少しました。半分以上の割合を占める地方交付税が2、363万円の減、また国や県から建設事業や選挙等のために交付されるものも合わせて4、848万円少なくなりました。

また、みなさんに納めていただいた税金は、町民税が定率減税の縮小等により増加しているものの、固定資産税が評価替えにより減少し、徴収率も低下しているため、前年度より352万円の減少となっています。



町民1人当たりで考えると...



平成19年3月末時点での貯金は、町民1人当たりになると63,971円。(17年度は71,426円で7,455円減少しました。) また、借金は一人当たり599,139円あります。(17年度は619,708円で▲20,569円減少しました。)

平成18年度の1人当たりの元利償還額は78,751円ですが、そのうちの約半分(48.9%)は地方交付税で補てんされています。

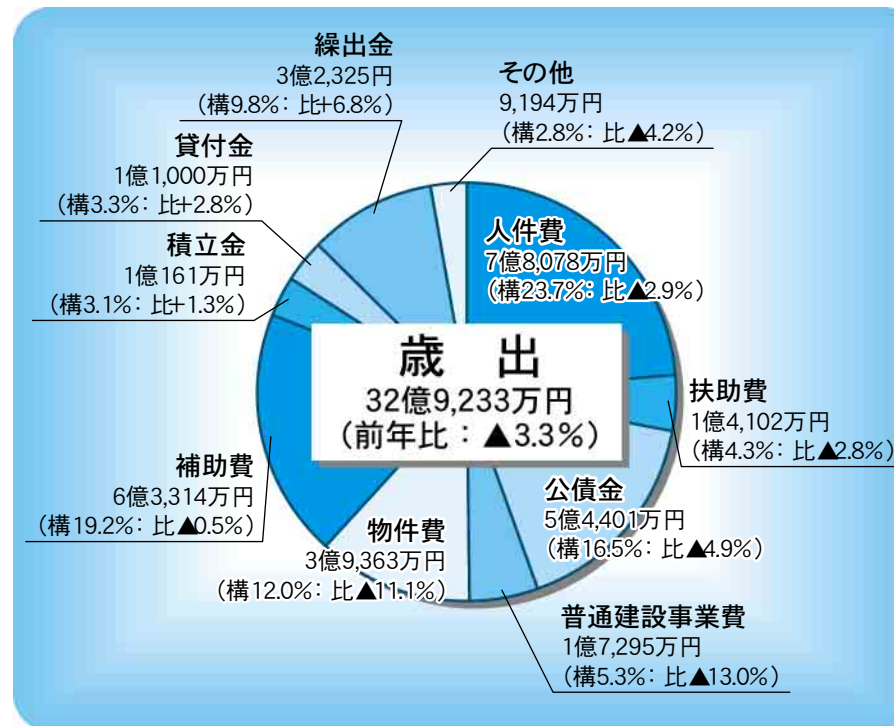
用語ひとくちメモ～歳入編～

- ◆町税…町民の皆さんが納めた税金
- ◆繰越金…前年度から今年度へ持ち越した金額
- ◆繰入金…特定の事業資金や財源不足を補うために基金を取り崩した金額
- ◆使用料及び手数料…町の財産や施設の使用料及び各種証明書の発行手数料収入
- ◆雑収入…集団検診料金の自己負担分など他の区分にあてはまらない収入
- ◆町債…建設事業などの資金や財源補てんへの借入金
- ◆その他…国や県からの諸交付金や寄付金など
- ◆地方交付税…国税のうち所得税などが法律に基づき交付されたもの
- ◆地方譲与税…国税のうち地方道路税と自動車重量税が法律に基づき交付されたもの
- ◆国庫・県支出金…国や県より、特定の事業に対して資金の一部が交付された補助金など

9月11から18日の町議会9月定例会において、町の平成18年度決算が認定されました。

みなさんから納めていただいた税金や国からの地方交付税などの収入がどれぐらいで、それらがどのような事業に支出されたのか、《町の家計簿》ともいえる一般会計の決算概要についてお知らせします。

一般会計では、歳入歳出差引きで約8千万円の黒字決算となりました。



歳出全体では17年度より1億1、305万円(3.3%)の減となりました。その主な要因は、普通建設事業費の太陽光発電モデル事業や除雪機械の購入が終了したことにより3、167万円の減、また退職等により人件費が2、366万円の減、物件費では指定管理者制度の導入により、遊学の森が直接県の管理となったことから、管理委託料が2、470万円の減、それぞれ減少したことによるものです。

18年度に行なわれた主な建設事業は、金山暮らし体験のための公舎改修(229万円)、経済活性化特別対策事業としてのほ場整備事業(889万円)、景観形成助成事業(975万円)、大堰公園(仮称)用地取得等(4、071万円)、町営住宅改修事業(573万円)などでした。



SUI〜と・かねやまプロジェクトの金山暮らし体験住宅に改修された公舎。



清い心の町フォーラムで、未来を担う中高生が積極的な議論を展開。



景観形成助成金の申請住宅の現地確認の様相。

《特別会計への繰出金の状況》

事業区分	繰出金	主な用途
国民健康保険事業	6,128万円	法令等による一般会計の負担金等
老人保健事業	6,129万円	
介護保険事業	7,162万円	収入不足の補てん
路線バス事業	762万円	
農業集落排水事業	4,800万円	
公共下水道事業	7,318万円	一般会計で負担すべき運営資金外

《企業会計等への補助金等の状況》

事業区分	補助・負担金等	主な用途
水道事業	7,870万円	水道料金の抑制
町立病院事業	2億1,849万円	運営費補助金外
最上広域事務組合	2億2,226万円	消防やごみ処理場など、各市町村が分担すべき経費

用語ひとくちメモ～歳出編～

- ◆人件費…議員・消防団等の報酬、町長、職員の給与
- ◆扶助費…児童手当、老人保護措置費、障害者支援等、法令に基づき支給されるもの
- ◆公債費…町の借金(町債)の返済に要する経費
- ◆普通建設事業費…道路や施設の建設費や大規模な修繕費
- ◆物件費…賃金、旅費、委託料、消耗品等
- ◆補助費等…公益上必要な場合に支出する負担金や補助金
- ◆貸付金…貸付金制度などによる事業資金融資(年度内に返済されるものです。)
- ◆積立金…計画的な財政運営を図るための積立
- ◆繰出金…他会計間の事業資金に充てる経費
- ◆その他…病院等への出資金、維持補修、災害復旧に充てる経費